

和親会報

(題字) 池田美智子氏 (高28回生)

兵庫県立福崎高等学校同窓会事務局 ☎(0790) 22-1200 FAX (0790) 22-1201 発行人 / 中塚昌利

令和
新時代
スタート



＜フオトスタジオカワモト提供＞

福高魂を受け継いで
105年

No.42

令和元年度

ごあいさつ



同窓会長

中塚昌利
(高24回生)

和親会の皆様には、ご健勝にてお過ごしのことと思います。日頃は和親会の運営にひとかたならぬご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、今回案内を頂いていた文化祭(第72回福高祭)を訪ねてみました。福高生にとっては、学校最大のイベントです。私にしても卒業以来の文化祭なので楽しみにして出かけました。1日目は、体育館ステージ発表が中心で主に2年生が活躍、2日目は、展示・ステージ発表と食品バザーで大賑わい。展示は、1年生・文化部が活躍し、バザーは3年生とPTAの皆さんが暑い中、焼そば・焼き鳥・カレーなど、汗をかきながら奮闘していました。

また、文化祭に父兄の皆さんはもとより、特に近隣地域の住民の方々がとても多いのに驚きました。今年頂いた「学校要覧」によると、地域貢献活動として吹奏楽部、ギター・マンドリン部、コーラス部等による福祉施設訪問や地域の文化行事への参加、地域の高齢者とランドゴルフ大会を行ったり、華道部による駅生け花展示を行う等地域社会との連携を深め交流を図っている事が紹介されています。このような活動が学校と地域社会の関わりを強めているのでしょう。

ところで、今年も和親会報(42号)の発行時期となりました。同窓会総会も6月15日に無事終了いたしました。総会のなかで「和親会報」の発行のあり方が検討されました。会報の郵送費の高騰で、会報基金の状況が悪化してしまいう事が、最大の問題となっています。皆さんから頂いている会報基金と広告料収入(決算報告参照)と発行費用をみると今後の会報発行が危ぶまれる事になります。しばらくは、現行のままでの発行を考えておりますので会報基金へのご協力を宜しく願います。

また、兵庫県では「県立学校環境充実応援プロジェクト」として「ふるさとひょうご寄附金」で福高生を応援できる制度があります。詳しくは、学校事務室までお問い合わせください。

なお、今後も「和親会」は福崎高校の応援団」として活動してまいります。本会の運営や在校生への支援、母校の発展にご協力下さいます様、お願い致します。

現況報告



校長 岡野 敦

和親会の皆様におかれましては、ますますご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。平素は母校の教育活動に多大なご理解とご支援を賜りまして、心から厚くお礼申し上げます。

着任以来、福岡高校の校務分掌、部活動、コース運営、地域連携や学校行事等の見直しを行ってきました。「不易流行」という言葉を意識しながら、進めてきたつもりです。

社会の少子化が進む中で高校の規模縮小が進められ、福岡高校も平成30年度の入学生から1学級減となり、それまでの1学年5学級から、4学級規模となりました。それに伴って教員は平成30年度からの3年間で7名が減ることになります。そのため校務分掌においては、平成30年度は2名少ない体制として、図書・人権部を総務部に吸収しました。さらに、今年度も2名、来年度は3名と減員が続きます。今年度につきましても、保健部の清掃・管理部門を総務へ移管し、保健と教育相談部門を生徒指導部に移管し、さらに生徒指導部を「生徒支援部」に進路指導部を「進路支援部」に名称の変更を行っています。指導から支援へのシフトは本校の生徒の実態を受けへの判断で、生徒支援部では教育相談が大きな役割を果たすことになりました。他校の真似をした訳ではありませんので、本校は生徒指導部の無い初めて(唯一)の学校かもしれません。

部活動では、本校は原則として文化部の顧問は運動部の副顧問を兼任するという体制で、できるだけ多く

の部活動を行ってきたのですが、この度の7名の教員減に伴い顧問の配置が不可能になる部がでてきました。そのため、やむなく柔道部・男子バレーボール部・女子ソフトテニス部の3部を休部することにしました。長い伝統のある部を休部させることは大変残念なことなのですが、安全配慮上、顧問の配置できない部の活動は認めることができません。申し訳ありませんが、ご理解ください。

十数年にわたって定員割れを繰り返してきた総合科学コースは、昨年度より従来の自然科学系と人間科学系の2系から数理科学系と看護医療系の2系の構成となりました。これにより、コース内は純粹理系と看護医療・教育・薬学系といった進路希望による構成となりました。コースの学びの明確化を図りました。加えて、今年の推薦入試から従来の面接、小論文、数学と理科の学力試験に変更を加え、小論文を廃止する一方で面接の充実化を図りました。そのような影響もあってか、コースの志願者は、女子生徒が倍増し、2年連続で50名を超え、長く定員割れに甘んじて来た状況が打開されつつあるようです。内部の整備と入り口の整備を行いましたので、今年も出口の整備を予定しています。今後も安心すること無く、新しい取り組みを加えながら特色と魅力のあるコース運営を図っていきたいと思います。小さくなくてもレベルを落としたり、元気を無くさない学校でありたいと考えます。

生徒に対するリサーチからは、昨年度最後となった今年1月のいじめアンケートの項目の中に「学校に来ることは楽しいですか?」という問いがありました。回答は全校生徒の

92%(484名)が楽しい・まあまあ楽しいと答え、楽しくない・あまり楽しくないと答えた生徒は8%(44名)でした。9割の生徒が学校生活を楽しいと感じていることは大変嬉しいことだと思えます。楽しくないと答えた生徒に対しては、それぞれカウンセリングを活用したり、担任や生徒支援部による寄り添う指導とできる限り支え続けていきたいと思います。加えて、昨年度の学校評価「生徒アンケート」の集計結果においても、約8割の生徒が福岡高校に来て良かったと答え、理由として、先生に対する相談のしやすさや学校行事に取り組み自分達の意識や姿勢を高く評価していました。

以上のようなことから、おむね落ち着いた雰囲気です。学校が運営され、生徒達もそのことを高く評価していると思っております。そこで、大きな改革よりも個々の取り組みの質的な向上を図ることを続けていきたいと考えています。

「いじめ」については、本校では昨年度1年間に4回のアンケート調査を実施しました。結果としては、数件のいじめではないかという申し出がありました。申し出のあったすべての生徒に聞き取りを行い、学校として情報の共有をしております。申し出のあった事案に関しましては、友達同士のいわゆるちよつとしたトラブルからの一時的なものであったり、誤解であったり、相当以前の事案で今は全く何もなく、相対り、といったことで、学校としていじめ事案として認知し、いじめ事案として対応したものはありませんでした。本校では、いじめを隠蔽したりするようなことはしませんので、あえてこの場で報告させていただきました。

最後になりましたが、和親会の皆様の益々のご健勝をお祈りすると共に、母校福岡をいつまでも心温かく見守って下さいますよう、心からお願い申し上げます。

変わらないものと変わるもの



教頭 後藤 司

盛夏の候、和親会の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は母校の教育活動に多大なご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。私は、本年4月に教頭として着任しました。どうぞよろしくお願いたします。

登校する生徒たちのさわやかな挨拶で福岡高校の一日が始まります。福岡生の特徴である健康的な明るさは変わりません。福岡駅から近いこともあり、現在は自転車通学生よりも播但線を利用した通学生の方が圧倒的に多くなっています。電車の到着時刻には駅から校門までは結構混み合います。2002年から完全週5日制となりましたが、今では火曜日と木曜日には7時間目まで授業が行われております。生徒が授業に向かう姿勢は真剣そのもので、授業を大切にしようという意識が教員、生徒ともに浸透しています。放課後になると約9割の生徒が部活動に励んでいます。生徒数の減少とともに部活動数や各部の人数は減っていますが、生き生きとした表情で元気いっぱい活動に励んでいます。学習に部活動に、学校行事や特別活動に自主的に真面目に取り組む生徒の姿こそ、本校の特徴であり先輩たちから受け継がれた伝統だと思います。

社会の変化に伴い、高校生が身につけるべき力や学ぶ内容は変化を続けています。例えば、選挙権年齢の引き下げに伴い主権者教育を、2022年から(現在の高校一年生)の成年年齢引き下げを見据えて消費者教

育を、本校でも外部と連携して実施しています。現在の高校生が30歳を迎える頃には、今ある職業の約半数がなくなり、半数の人たちが今は存在していない仕事をするようになるといわれています。「ヒト対ヒトのコミュニケーション」が必要な業種はコンピュータには難しいとされてきました。しかし、コンピュータは、膨大なデータ処理能力と高度な学習機能を持たせたことで人工知能と呼ばれ、受付業務や秘書業務をはじめ、調理、医療、清掃、高齢者介護などのサービス産業でもより複雑な作業を担うことが可能となっていきます。人間のやっていた仕事が次々と人工知能に置き換わっていくと同時に、人工知能の進歩により今までにない新しい仕事も生まれてくる予想されています。それにより高校における学びのあり方も変わることが求められています。

さて、創立105年目を迎えた本校は、さらなる発展を期して、①明るく、楽しく、生き生きとした魅力ある学校づくりを推進する。②確かな学力を身につけさせ、個性の伸長を図る。③町内唯一の高校として地域を支え、地域に支えられながら学校文化の発信に努める。④教職員としての使命感を持ち、高い専門性と豊かな人間性の修養に務め、協働の精神を養う。以上の4点を学校経営の重点目標として、教職員が一丸となって日々の教育活動に取り組んでいます。和親会のみならず、引き続きご指導とご支援をよろしくお願申し上げます。



過去 3 年間の主な 大学・短大合格者数

今春、71 回生 189 名がそれぞれの夢に向かって巣立って行きました。岡山大や兵庫県立大などの国立大に合格する一方で、私大では合格者数が絞られ苦戦しましたが、それでも関西学院大に 10 名合格するなど、最後まで頑張った生徒は結果を出せました。就職については、兵庫県警察事務に合格したり、JR 西日本に就職するなど、公務員 2 名・民間 6 名が合格しました。

私 立 大														国 公 立 大														大 学 名	30 年	71 回	29 年	70 回	28 年	69 回										
京 都 精 華 大	京 都 先 端 科 学 大	京 都 外 大	龍 谷 大	京 都 産 業 大	立 命 館 大	同 志 社 大	び わ こ 成 蹊 大	鈴 鹿 医 療 科 学 大	名 古 屋 学 院 大	鶴 見 大	帝 京 大	拓 殖 大	文 化 学 園 大	東 京 農 大	上 智 大	早 稲 田 大	長 崎 県 立 大	山 口 東 京 理 科 大	山 口 県 立 大	尾 道 市 立 大	福 山 市 立 大	岡 山 県 立 大	島 根 県 立 大	鳥 取 環 境 大	神 戸 市 外 大	兵 庫 県 立 大	静 岡 文 化 芸 大								首 都 大 東 京	は ち だ て 未 来 大	九 州 工 大	徳 島 大	香 川 大	山 口 大	岡 山 大	島 根 大	鳥 取 大	和 歌 山 大
1	1	1	2	7	3	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	1	2	0	2	0								0	0	0	1	0	0	0	2	0	0
0	0	1	10	5	12	2	0	0	2	0	0	0	1	1	3	1	1	0	1	0	0	1	3	0	0	3	0	1	1	0	0	0	0	2	0	0	0	2	1	0				
0	0	0	3	6	3	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	1	3	1	0	0	1	0	2	0	0	0	2	7	0						

私 立 大														国 公 立 大														大 学 名	30 年	71 回	29 年	70 回	28 年	69 回										
流 通 科 学 大	兵 庫 大	武 庫 川 女 子 大	姫 路 獨 協 大	園 田 学 園 女 子 大	神 戸 親 和 女 子 大	神 戸 松 蔭 女 学 院 大	神 戸 女 子 大	神 戸 海 星 女 子 大	神 戸 女 学 院 大	神 戸 芸 術 工 科 大	神 戸 国 際 大	神 戸 学 院 大	大 手 前 大	甲 南 女 子 大	甲 南 大	関 西 学 院 大	大 阪 成 蹊 大	関 西 医 療 大	大 和 大	阪 南 大	相 愛 大	四 条 観 学 園 大	大 阪 青 山 大	撰 南 大	関 西 外 大	大 阪 大 谷 大	大 阪 電 気 通 信 大								大 阪 体 育 大	大 阪 産 業 大	大 阪 工 業 大	大 阪 芸 術 大	大 阪 経 済 大	近 畿 大	関 西 大	佛 教 大	同 志 社 女 子 大	嵯 峨 美 大
5	2	3	5	0	4	4	8	0	0	2	0	27	1	3	19	10	0	0	0	1	1	0	0	3	4	2	3								0	2	8	0	1	18	6	2	0	1
6	4	6	10	0	9	3	33	3	1	1	1	46	3	8	24	3	0	0	0	0	0	1	1	1	4	0	12	2	8	7	2	1	25	8	1	0	0							
9	1	11	9	1	2	5	11	0	7	1	5	34	0	8	28	4	1	1	4	0	0	0	0	0	3	1	3	4	2	6	0	0	10	5	7	2	0							

短 大														私 立 大														大 学 名	30 年	71 回	29 年	70 回	28 年	69 回						
川 崎 医 療 短 大	大 手 前 短 大	武 庫 川 女 子 短 大	兵 庫 大 短	姫 路 日 本 短 大	須 米 短 大	産 業 技 術 短 大	神 戸 常 盤 大 短	神 戸 女 子 短 大	大 阪 成 蹊 短 大	関 西 外 短 大	滋 賀 短 大	東 京 歯 科 大 短 大	倉 敷 市 立 短 大	沖 縄 国 際 大	立 命 館 シ ャ ン ン 大	徳 島 文 理 大	広 島 国 際 大	福 山 大	就 実 大	環 太 平 洋 大	清 心 女 子 大	倉 敷 芸 術 科 学 大	吉 備 国 際 大	川 崎 医 療 福 祉 大	岡 山 理 科 大	天 理 大	神 戸 常 盤 大								姫 路 医 療 大	兵 庫 医 療 大	関 西 看 護 医 療 大	関 西 国 際 大	関 西 福 祉 大	甲 子 園 大
	0	1	8	0	0	0	0	4	2	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	2	0	2	0								3	6	0	4	1	7
	1	0	1	0	0	0	2	2	6	0	1	0	0	0	1	0	3	0	1	1	2	0	2	0	3	6	0	4	1	7	0	1	10	0	0	0				
	0	0	9	1	1	1	0	1	0	1	1	1	0	0	1	1	0	2	0	1	2	1	0	3	3	1	6	5	3	1	2	8	0	0	0					

部活動の記録(平成30年度)

運 動 部

野球部 男子バスケットボール部 バドミントン部
剣道部 陸上競技部 水泳部 ソフトテニス部 テニス部
卓球部 サッカー部 バレーボール部 ソフトボール部

バドミントン部：
女子ダブルス(澤田・森本) 近畿高校選手権大会出場

文 化 部

コーラス部 ギター・マンドリン部 吹奏楽部 茶華道部
ホームメイド部 美術部 写真部 放送部 書道部

ギター・マンドリン部：
全国高校ギター・マンドリン音楽コンクール 優良賞

県立学校 環境充実応援プロジェクト

『ふるさとひょうご寄附金』で
福高生の応援を
お願いします！



福崎高校マスコット
ふっきゅん

寄附金活用テーマ 部活動の活性化及び安全・安心をサポート
寄附金活用内容 クラブハウスを明るく快適な空間に、
グラウンド等の安全環境の整備に、活用します。
目標金額 50万円

職 員 異 動

転入された方々

教頭 後藤 司 (県立社高等学校より)
数 学 森川 恵行 (県立飾磨工業高校(多)より)
情 報 戎原 進一 (県立千種高校より)
地 公 中田 隆文 (県立伊和高校より)
地 公 三浦 優介 (新採用)
英 語 村崎 果歩 (県立上郡高校より)
事 務 船引ゆあみ (県立赤穂高校より)
数 学 牛尾 貴志 (県立播磨特別支援学校より)
理 科 辻井 里知 (臨時講師)
養 護 旗野あずさ (臨時講師)
英 語 横野 光祐 (臨時講師)
保健 体育 笹山 誠也 (臨時講師)

転出・退職された方々

教頭 児島 義人 (明石北高校へ)
英 理 森 美樹 (網干高校(通)へ)
数 学 大前 和隆 (龍野高校へ)
地 情 川嶋 輝美 (但馬やまびこの郷へ)
地 公 植田 真康 (飾磨工業高校(多)へ)
数 学 大田 直也 (千種高校へ)
事 務 宇佐見吉彦 (和田山高校へ)
保 健 木村 尚則 (姫路工業高校へ)
理 科 竹田 卓弥 (武庫荘総合高校へ)
英 養 黒柿 利恵 (神崎高校へ)
藤井沙央梨 (県立大付属中・高校へ)
横山 美奈 (西脇高校へ)
二谷 花奈 (退職)
佐々木 藍 (上郡町立山野里小学校へ)

親和の広場

「和親会関東支部 平成30年7回交流会」報告について

関東支部事務局 横田 正 (高26回生)

第7回関東支部交流会は、2018年10月21日(日曜)、ホテルグランドヒル市ヶ谷にて11時30分に開会し、14時30分まで約3時間にわたり開催しました。

参加者は関東1都6県に在住の23名(男性16名、女性7名)および母校より岡野校長先生と和親会中塚会長様に出席をいただきました。

岡野校長先生の挨拶、中塚会長様の乾杯が始まり、和やかな雰囲気の中で更にお酒も入り、歓談も弾みました。また、今回は新たに4名(17回、27回、31回生、49回生)の方が初めて参加され自己紹介、そして余興へと進行し、楽しい時間を皆さんと共有することができました。柏井氏(29回生)によるトークとライブに感動し、村山氏(11回生)による「認知症にならない生き方」の講演、渡辺氏(16回生)のジャンケンゲームなど、会場も大いに盛り上がり、あっという間に3時間が過ぎていきました。

最後に吉識靖子氏(8回生)の指揮により校歌を全員で合唱し、無事交流会が終了しました。また、交流会終了後には懇親会を開催しました。ほとんどの方が参加され、岡野校長先生および中塚本部長様による母校の現況等を詳細に報告いただきながら質疑も交えてみなさんと歓談し、たいへん有意義な1時間でした。



和親会関東支部 令和元年 交流会 開催のご案内

※開催日 2019年10月20日(日)
午前11時30分～14時30分
※会場 ホテルグランドヒル市ヶ谷
(JR総武線市ヶ谷駅より徒歩5分)
※会費 9千円

※案内状は8月上旬に発送予定です。多くの方の参加を楽しみにしております。

尚、案内発送は現在住所を把握できていない方に送付しております。関東に在住の方で支部会に会員登録されていない方は、案内状が発送できませんので是非、登録をお願いいたします。左記事務局にお問い合わせください。

関東支部事務局 横田 正(高26)

〒323-0820 栃木県小山市西城南1-13-12

TEL 携帯 070-0262-710528
PC mail: tyokota-01@nifty.com

兵庫県警察「福警会」の紹介

田中 暁【福警会事務局】

私たちは、兵庫県立福岡高等学校を卒業し、兵庫県警察に在職している者及び退職した者で親睦団体「福警会」を組織しており、毎年、総会を開催しています。

本年も3月9日、姫路市内のホテルで今春ご勇退された3名の方々の「送別会」を兼ねた総会を開催し、勇退者3名の労をねぎらうとともに会員相互の親睦を深めました。



春の叙勲 山本英夫校長先生 「瑞宝小綬章」受章



福岡高校第22代校長の山本英夫先生が平成31年2月1日付けの叙勲で瑞宝小綬章を授章されました。

先生は、昭和63年4月、福岡高等学校長として着任され、創立70周年を経た本校において、人事の停滞、校舎諸施設の老朽化等、学校を覆う諸問題の一扫に取り組み、校舎の外装、内装工事を実施するなど、教育環境整備に尽力されました。また、保護者への協力態勢を整えられました。さらに、1時間1時間を大切に授業展開が生徒の学習指導に、全教職員による指導体制づくりが生徒指導に、それぞれ効果をあげ、地域・PTAの協力を得て、学校内の秩序が保たれました。国立大学進学者10名という実績をあげたことも、学校が学びの場に変わり地域への評価を新たにす好材料となりました。

地域に根ざした学校づくりが可能になったのも、伝統の持つ力を活用し、積極的に変革を打ち出した指導姿勢にあったからで、部活動にもその活躍・活性化がもたらされ、サッカー部の常勝、バレーボール部の西播磨地区優勝、硬式テニス部の誕生などの成果を出せました。

平成3年3月に退職された後は、学校法人愛徳学園高等学校と明石工業高等専門学校で講師として勤務され、平成8年から16年までの8年間は、小野市教育委員会の委員を務められました。特に平成10年度と14年度の2年間は、教育委員長にも就任されました。この度の受章を心からお喜び申し上げます。おめでとうございます。

第17回和親会ゴルフコンペのご案内

第16回和親会ゴルフコンペは平成30年10月17日(水)福岡東洋ゴルフ倶楽部において開催いたしました。

最年長は8回生、最年少は44回生、そして昨年に引き続き第28代志方校長にご参加いただきました。女性参加者7人、兵庫県外からも11名の参加を頂き総勢162人でした。

個人戦の優勝はグロス86、ハンディ16.8、ネット69.2の成績で18回生の小西邦男さんでした。ベストグロスは21期生の段床繁雄さんと42回生の高馬孝さんが76で同グロスでしたが、この会では先輩が優位になることになっているので段床さんが獲得されました。

各回期の上位4人のネットスコアで競う団体戦は18回生が優勝、2位は42回生、3位は21回生でした。

第17回の開催日は、昨年度から原則として10月の第3水曜日に決めていますから今年度は令和元年10月16日(水)に開催します。

ゴルフ場は福岡東洋ゴルフ倶楽部と栗賀ゴルフ倶楽部を交互に開催していきますので今回は栗賀ゴルフ倶楽部において開催いたします。

参加申し込みは各回期の幹事さんか、もしくは左記の連絡先へお電話下さい。

《連絡先》
TEL 0799-0221-0290
FAX 0799-0221-3410 (株)マルフク
または
携帯電話 090-303918123 (後藤(高13回生))

高29回生同窓会報告

高29回生 藤澤美智子

1月3日、姫路日航ホテルにて「29回生 還暦同窓会」が開催されました。

米田先生、勝野先生、永井先生にご出席いただき、80名参加のもと、感動の同窓会となりました。この会を開催するにあたり、松本安弘さんをはじめ、幹事の皆さんが中心となりお世話をしてくださいました。とにかく皆さんが「参加してよかった」と思っていただけける同窓会にと、幹事一同全力で取り組ませていただきました。最初に、和親会より助成金をいただいた事を報告したところ、会場から大歓声がおこりました。その後のクイズやゲームも楽しく、年齢を忘れ、まるで高校時代に戻ったようでした。おかげで、日頃の疲れも吹き飛びました。

私達世代は、子ども達も手を離れ、孫の面倒、また親の介護をしている者もいます。現実の日々の様々な悩みと格闘しながらも、こうして元気で集えた事に感謝と感動でいっぱいでした。次回は5年後にとの事です。とにかく



祝 還暦 福岡高校29回生 同窓会

く、皆さんが健康で、笑顔で、また集い合える事を願っています。

森山京追悼特別企画展

「かけがえのないもの」

平成三十年一月に八十八歳で他界された森山京さん【高女二十四回】を偲び、追悼特別企画が神奈川県大和市で開催された。森山京さんは居住地だった大和市のアトリエで数々の名作を遺した。ホッとする絵本・童話の多い森山作品をさまざまな視点で触れた企画展、笑いや涙それにちょっぴり切ないストーリーの森山ワールド。きつねのこシリーズなど森山作品が二百点、自筆原稿も並べられた。

追悼展の初日、平成三十一年一月二十七日には「トーク



ショール&朗読ライブ)がありお茶の間でも大人気の渡辺徹氏によるトーク「言葉のチカラ」渡辺徹氏を迎えて」に続いて、第二部では文学座の女優名越志保氏、吉野実紗氏による朗読会があり多くの観覧者で賑わった。

第8回毎日地球未来賞〈クボタ賞〉受賞

文化の結晶(棚田)を守り続ける!

NPO法人棚田LOVERS理事長 永菅裕一【高55回】

《毎日新聞より》

食料・水・環境の分野で問題解決に取り組み個人や団体を顕彰する「第8回毎日地球未来賞」(毎日新聞社主催、外務省後援、クボタ協賛)の表彰式と受賞記念講演会が2月16日に毎日新聞大阪本社オーバルホールであった。永菅さんは兵庫県立大学から同大学院修了。

《永菅裕一・記念講演要旨》

2007年5月に棚田農家から、後継者不足などの問題

で「5年で棚田がなくなる」と聞き、会を発足させました。

棚田は先祖代々、「未来の子どもたちのために」との思いを込めて残されてきた文化の結晶です。自然や命に感謝し、美しい棚田を未来につなぐために活動しています。

棚田は米が作れるほか、水をため、洪水調整ができ、地滑り防止にもなります。生態系の保全につながるとも言われます。しかし、農家は少子高齢化や労働力不足、赤字経

営、鳥獣被害などに悩まされています。活動は、都会で農業や食を楽しむ交流会を開いたり、兵庫県市川町を中心に田植えや稲刈りなど自然体験の場を設けたりしています。

「棚田エコ学園」では棚田を守りながら米を育てる経験をしてもらっています。「棚田の担い手になりたい」と言ってくれる子どもも出てきました。

味噌や納豆作り体験なども企画しています。興味がある方はぜひ参加してください。



元関西外国語大学教授

庄幹正氏が姫路文化功労賞受賞



元和親会長で元関西外国語大学教授の庄幹正さん【高4回】が地

域文化活動が顕著であるとして姫路文連より姫路文化功労賞を受賞された。授賞式は昨年12月9日(日)、高砂市の鹿島殿で行われた。庄さんは本校より関西学院大学法学部・同大学院博士課程を修了され、法学者として関西外国語大学で長らく教鞭をとられ、平成11年に同大学を退官された。

その後、郷里の福崎町八千種に戻られ、福崎町文化協会長の会長を務められている。78歳の時には「あの道この道」わが人生わが思索」を出版された。著書の帯には「(人生の着陸)に向けて生きた証を残す。約30年に亘り大学で教鞭をとった著者が、これまでの人生を振り返り、生きた証とすべく綴った随筆集」とある。続いて2年後には「あの道この道」の続編を、その2年後には「あの道この道」の続編を相次いで出版され3部作として完結させた。

第一巻は「箱根千里」「勝者と敗者と」「日本人と食」「酒と人生」「嘘の効用論」など計21の随想、続編は「無念無想」「無常ということ」「裁き」「自然のしつべ返し」「旅の話」「ふるさと考」など計21の随想、続編は「人生万事一期一会」「アメとムチ」「遠因、近因」「飽食日本」「安楽死の問題」「はやりすたれ」など計21話が掲載されており、庄さんのお人柄や考え方が窺える作品群で構成されている。



銀の馬車道 & 鉱石の道 ~73^キの轍~

日本遺産認定【2017/4/28】JAPAN HERITAGE

銀の馬車道&鉱石の道は養父・朝来・神河・市川・福崎・姫路の6市町を通る73^キにも及ぶ近代の高速産業道路。



〈一円電車〉



〈神河道の駅〉



〈神河町吉富畑川原〉



〈豊富付近〉





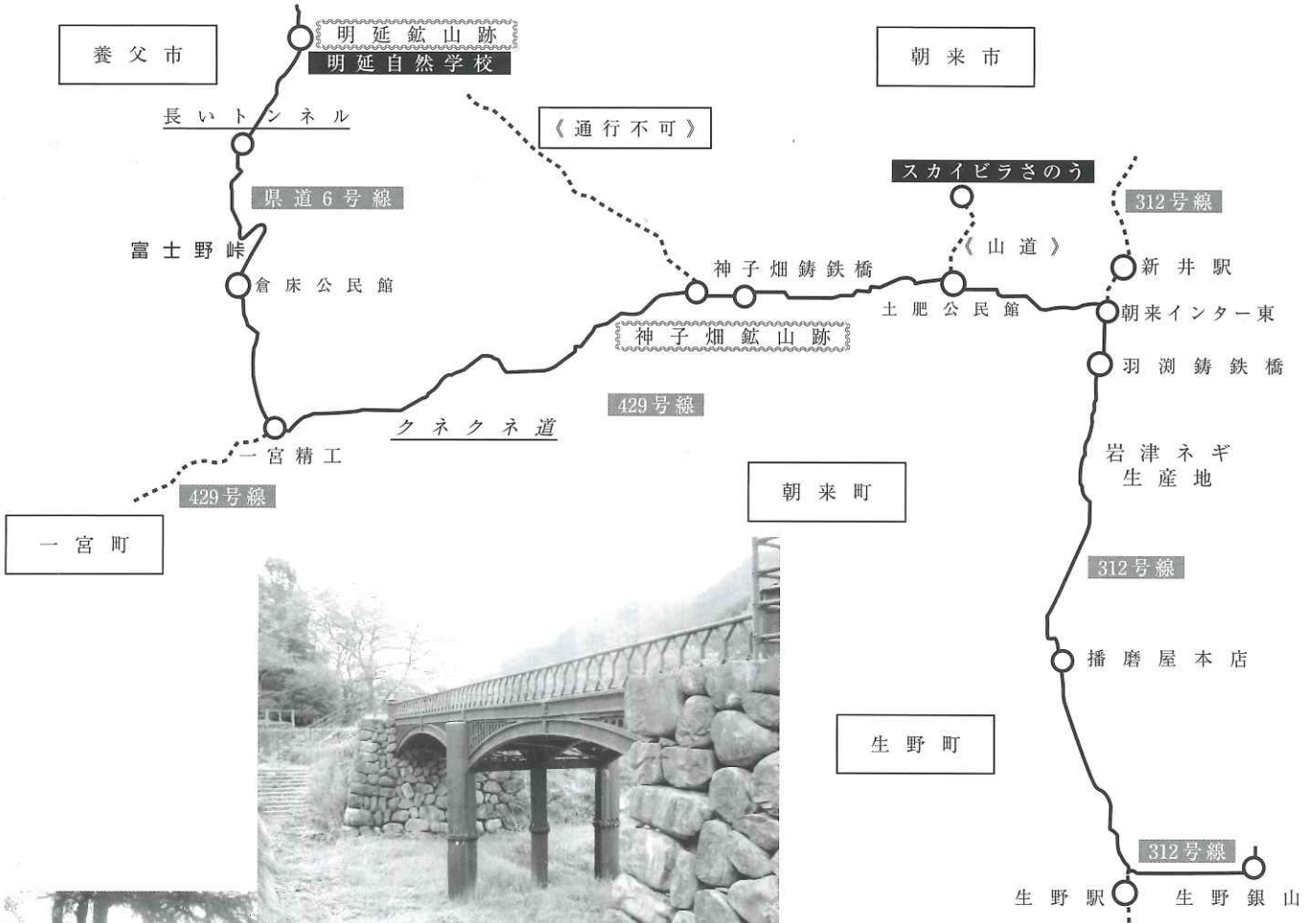
鉱石の道



〈神子畑小学校跡〉



立入禁止



〈撮影：難波正司(旧職員)〉

道標



「つながろう、分ちあおう、学び続けよう」

福高同窓生
全世代交流サークル

ゆずりは歴史散歩倶楽部



有本芳水詩碑

レポート 第4回例会

今回は銀の馬車道をゆったりと散歩したいと思います。さて、生野から福崎を通り姫路の飾磨港まで49キロもある道のどの部分を歩こうかと思索したあげく、馬車道最終ルート「姫路駅界隈から飾磨港までの飾磨街道の部分」を約5キロほどを散策しながら歩こうと決まりました。是非、ご参加をよろしくお願い申し上げます。

**どなたも
参加歓迎!**

日時：11月3日(日)
集合時間：午前11時厳守
集合場所：姫路駅南口じばさんビル入口付近
コース：姫路駅～法性寺～有本芳水詩碑～山電飾磨駅～飾磨港物揚場址

- *昼食場として法性寺会館をお借りします。
- *帰路は山電飾磨駅から姫路駅まで山陽電車を利用します。(解散)
(雨天中止・昼弁当は各自持参)
- *定員は30名です。お早めにお申し込みください。

申込先：兵庫県内の方は幹事の難波正司にショートメールか携帯電話でお願いいたします。携帯：090-9097-2742
兵庫県外の方は「ゆずりは歴史散歩倶楽部」事務局の森口武美までショートメールか下記のメール或いは携帯電話でお願いいたします。携帯：090-4305-1661 メール：mori72yoshi@kcn.jp



法性寺



飾磨港物揚場址

卒業生の新著



「播磨の俳句三百年史」

難波正司著【高25回】

全播磨の俳諧・俳句三百年の歴史が初めてまとめられた!!

《推薦の言葉》(姫路獨協大学教授・文学博士富田志津子氏)
本書は俳諧という文芸が当地に芽生えた近世から、現代に至るまで調べ尽くされ、いわば縦糸と横糸がしっかりと織られている。これ一冊で、播磨の俳諧はすべてわかる。難波正司先生は自ら、播磨の地を歩き、先人の足跡をたどり、調査し、考証し、まとめられた。この度刊行された『播磨の俳句三百年史』は、難波先生の俳諧・俳句研究の集大成である。史的研究だけでなく、資料、史跡、参考文献までが一覧されている。
本書の内容(《もくじ》より)《A5版・厚冊462頁》
芭蕉翁と惟然・姫路風羅堂一派の俳諧・加古川栗本一派の俳諧・瀧瓢水の俳諧・(盲目の俳人)竹内玄玄・播磨の近世俳人小伝・播磨の主要な俳跡・近現代の俳人たち・播磨の俳人事典・播磨の俳句三百年史総合年表・詳細な参考文献ほか。
2000円(税込)

「思いつくまま気のむくまま」

岡本正史著【高8回】

本校8回生の岡本正史さんが写真集「思いつくまま気のむくまま」を出版されました。

写真コンテストに多くの作品を掲載されました。平成に入ってから一般社団法人二科展を中心に活動され、二科展で数多くの賞を受賞されています。平成29年9月、二科会写真部会員に推挙され、今回はその記念としての出版とのこと。本校へは図書室と写真部に2冊寄贈していただきました。

※写真集「思いつくまま気のむくまま」は荒木印刷(株)より¥3500+税で出版されています。



ふるさと企業さんぽ《第4回》

創業100年を超えた
(株) マルフク

〈所在地：兵庫県神崎郡福崎町新148〉



丸福鋳泉時代の前掛け

(株)マルフクはちょうど100年前に後藤伝蔵氏(現社長後藤優佳氏の曾祖父)が創業したのにはじまる。それは1918(大正7)年5月のことであり、第一次世界大戦が終わった年である。思えば、県立福崎高校が創立したのが1914(大正3)年であり、ほぼ同時期に当たる。

創業から8年後に、伝蔵氏は丸福鋳泉(株)を設立し〈丸福サイダー〉の製造販売をはじめた。1955(昭和30)年に酒類小売免許を取得し、1970(昭和45)年に製造業はキンキサイン協業組合(現キンキサイン(株))に協業し、翌年より酒類卸売免許を取得し、酒類・飲料卸売業へと転身した。そして1976(昭和51)年には社名を丸福鋳泉(株)から(株)マルフクに変更し神崎郡唯一の酒類・飲料卸売業者へと発展していった。

以来、アサヒビール、アサヒ飲料、大塚製業の商品を主力商品とし、また、八重垣酒造をはじめ、白鶴酒造や壺坂酒造、本田酒造等の商品を企業や店舗へ提案し配達する業務を展開していった。ひと昔前とは違い酒類業界はしだいに売り上げの減少傾向となり、新たに2002(平成14)年からは飲料自販機オペレート業を展開し自社管理によるフルサービス業を開始し好評である。

また一方、1955(昭和30)年頃より不動産部門にも進出し、地元をはじめ、



現在の本社建物

姫路や加古川に多くの賃貸物件を構え、戦後の住宅インフラ開発において地域社会に貢献してきた。近年は既存物件のリニューアルも積極的に進めており、グループホームの賃貸物件も所有している。

現社長は、「おかげさまで、皆様に支えられて会社設立以来100年の歩みを重ねました。これからも地域社会の〈食〉と〈住〉環境に貢献していくことをモットーに着実に歩みを進めていきたい」と抱負を述べておられた姿が印象的だった。また、現会長の後藤雅一氏【高13回】は前和親会長として福崎高の90周年、100周年記念事業を見事に成功に導かれた。地元でも前福崎町商工会会長、現福崎町観

光協会会長などを歴任され、町の重鎮として今も現役として活躍されている。

最後に、当社が発売元となっている酒類・飲料水より紹介したい。まずは、福崎の特産品もち麦で醸した〈もちむぎ焼酎ふくさき〉、二つめは、福崎町を流れる市川にある駒ヶ岩の河童伝説から生まれた〈播州福崎河童サイダー〉は柚子風味で美味。三つめは、壺坂良昭氏【高46回】が杜氏を務める壺坂酒造製造の〈福高魂〉などもある。

写真提供：(株)マルフク 取材：難波正司【高25回】



現在の本社建物



河童サイダー



福高魂

販売価格 五、〇〇〇円



創立百周年記念誌 1914~2014年

『福高百年物語 ~再会・あの頃の私たちに~』

写真 福高百年メモリー写真館・福高百年を彩った人々・沿革史・部活動
寄稿〈百稿〉・創立百周年記念行事・福高データブックetc.

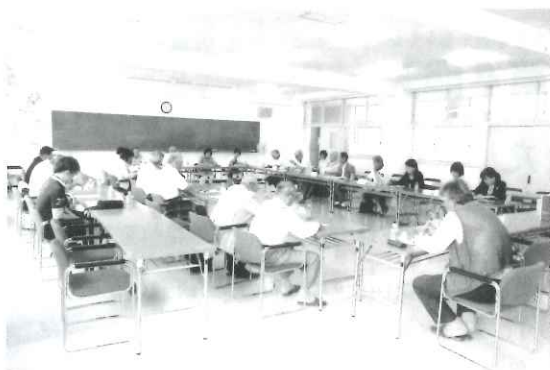
A4版 フルカラー版 アート上質紙 全354頁 ケース入り

(兵庫県立福崎高等学校記念誌編集委員会編)

発売中!!

一家に一冊

本校和親会事務局 (TEL 0790-22-1200) まで申し込みをお願いします。



福崎高等学校和親会の令和元年度常任理事会が6月15日(土)午前10時から福崎高校会議室で開催された。理事会・総会には中塚昌利会長、平石れい子副会長、森久美子副会長ら同窓生30余名と学校側から岡野敦校長、後藤司教頭、東郷智加子事務局長【高31回】らが出席された。議事はまず事務局の渡辺麻美氏から会計報告がなされ、30年度の収支決算について神崎超彦監査の認証報告がなされた。続いて、令和元年度の事業・予算案が承認された。

引き続き、現在で41号まで発行している「和親会報」の今後の紙面での発行と全卒業生への郵送のあり方が検討された。また、在校生の同窓会費徴収の方法等も検討された。

福高和親会
令和元年度理事会・総会開く

平成30年度 会報基金賛助状況
(H30.4.1~H31.3.31)

回生	金額	回生	金額	回生	金額	回生	金額
旧職員	38,000	中01	5,000	高27	51,000	高55	3,000
特別会員	3,000	中02	11,000	高28	9,000	高56	0
女01	0	高01	3,000	高29	19,000	高57	2,000
女02	0	高02	6,000	高30	14,000	高58	4,000
女03	0	高03	30,000	高31	16,000	高59	2,000
女04	0	高04	36,000	高32	9,000	高60	0
女05	0	高05	43,000	高33	28,000	高61	3,000
女06	0	高06	122,000	高34	9,000	高62	2,000
女07	0	高07	50,000	高35	17,000	高63	6,000
女08	0	高08	77,703	高36	0	高64	0
女09	1,000	高09	107,000	高37	3,000	高65	2,000
女10	1,000	高10	44,000	高38	3,000	高66	2,000
女11	10,000	高11	83,000	高39	11,000	高67	0
女12	0	高12	62,000	高40	2,000	高68	1,000
女13	0	高13	79,000	高41	1,000	高69	5,000
女14	0	高14	75,000	高42	1,000	高70	1,000
女15	2,000	高15	31,000	高43	4,000	定01	6,000
女16	0	高16	28,000	高44	5,000	定10	1,000
女17	0	高17	63,000	高45	2,000	定11	3,000
女18	0	高18	103,000	高46	6,000		
女19	18,000	高19	57,000	高47	7,000	一般寄付	30,000
女20	0	高20	58,000	高48	3,000		
女21	11,000	高21	82,000	高49	1,000		
女22	11,000	高22	44,000	高50	3,000		
女23	28,000	高23	29,000	高51	1,000		
女24	13,000	高24	22,000	高52	2,000	基金合計	
女25	25,000	高25	13,000	高53	3,000		
女26	5,000	高26	21,000	高54	1,000		1,854,703

平成30年度 和親会会計決算報告(H30.4.1~H31.3.31)

◎ 一般会計		◎ 会報会計	
1 総括		1 総括	
収入合計	4,179,279	収入合計	3,923,639
支出合計	958,388	支出合計	2,649,850
差引残高	3,220,891	差引残高	1,273,789
2 収入の部 (単位:円)		2 収入の部 (単位:円)	
項 目	決 算 額	項 目	決 算 額
前年度繰越金	3,371,779	前年度繰越金	1,708,936
同窓会費	802,500	広告代	360,000
CD記念誌等売上	5,000	会報基金寄付	1,854,703
雑収入	0	雑収入	0
合 計	4,179,279	合 計	3,923,639
3 支出の部 (単位:円)		3 支出の部 (単位:円)	
項 目	決 算 額	項 目	決 算 額
運 営 費		会報印刷代	1,288,980
会議費	4,800	郵送料	1,269,310
通信費	18,228	通信費等	0
事務費	243,862	手数料	91,560
渉外費	50,000	合 計	2,649,850
旅費	43,000		
慶弔費	82,016		
事業費			
運動文化後援費	19,224		
講演音楽後援費	30,000		
同窓会助成金	10,000		
福崎高校応援費	293,314		
卒業記念品等	163,944		
予備費	0		
合 計	958,388		

会計監査報告
上記の会計を監査したところ、適正に処理されていることを認めます。
令和元年6月5日
監査委員 神崎超彦 (印) 渡辺雅文 (印)

お悔やみ
前福崎町町長橋本省三氏【高21回】が本年3月30日にご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

「和親会報」基金賛助についてのお願い
年一回発行の福高同窓会報「和親会報」はすべての同窓生と旧職員並びに現職員に郵送されております。同窓生をつなぐ会報の存続のためにも広告(11~12頁)や個人の基金が必要となっております。同封の振込用紙にて一口千円以上の支援を是非よろしくお願ひ申し上げます。

昨年度の会報基金賛助の総額は 1,854,703円でした。

会報編集委員
《同窓会》難波・寶谷
《学校》渡辺・佐想

和親会事務局

〒679-2212 兵庫県神崎郡福崎町福田234-1
兵庫県立福崎高等学校内
☎(0790)22-1200 FAX(0790)22-1201

印刷 中井綜合印刷株式会社

事務局便り

ようやく本年度も同窓会報を無事に発刊することができました。会報はすべての卒業生(2万余名)に郵送していますが、300通余りが返送されてきます。住所不明が理由です。転居された際には必ず事務局まで御一報下さい。また計報の連絡もよろしくお願ひします。

三〇号記念号より会報は、B5版より文字ポイントを大きくして読みやすいA4版にしています。

<p>“Warm Heart” ～ありがとうの連鎖を～</p> <p> 東武トップツアーズ TOUBUTO TOURS</p> <p>姫路支店 〒670-0902 姫路市白銀町18 日生白銀町ビル6F TEL 079-224-5761 FAX 079-288-0109 http://www.toubutoptours.co.jp 営業時間 9:00～18:00 休業日 土・日・祝日・年末年始</p>	<p>株式会社保険屋本舗. 福崎 (生命保険・損害保険総合代理店)</p> <p>代表取締役 小幡 勇介 (高53回生)</p> <p>TEL (0790) 23-0410 FAX (0790) 23-1961</p>	<p>教科書・新刊書籍 学習参考書のことなら……</p> <p>浅野書店</p> <p>本店/姫路市博労町(船場産業道路) TEL (079) 293-0635 FAX (079) 293-9075</p>
<p> アミウサロン 〒670-0867 姫路市野里寺町3 サンアートビル21 1F TEL/FAX 079-283-7818</p> <p>岡部智恵美 (高29回生) (旧姓 大塚)</p> <p>福崎高OBに限り、初回無料 スタッフ募集</p>	<p>平和堂スポーツ</p> <p>加西市北条町横尾341-1 TEL (0790) 42-5331</p> <p>姫路市二階町67 TEL (079) 282-1100</p>	<p>スタジオ アッシュ</p> <p> 競技ダンス 社交ダンス ダンス練習場 フラダンス</p> <p>構 美知 (旧姓 酒井) (高21回生)</p> <p>姫路市香寺町広瀬17-1 TEL (079) 232-7977 営業時間 PM 1:00～PM 10:00</p>
<p>証明写真・七五三・成人式・家族写真撮影</p> <p>株式会社 フォトスタジオ カワモト</p> <p>神崎郡福崎町福田330-10 ☎ (0790) 22-1112</p> <p>山本 明美 (旧姓川本) (高21回生) 青木 久代 (旧姓川本) (高24回生) 山本 恵子 (旧姓湯之上) (高45回生) 山本 陽子 (高50回生)</p>	<p>スポーツ&トラベル</p> <p>タック (兵庫県知事登録旅行業第3-488号)</p> <p>たかいし不動産 (兵庫県宅地建物取引業協会会員)</p> <p>代表 高橋 憲明 (高23回生)</p> <p>〒679-2415 兵庫県神崎郡神河町福本870-1 TEL (0790) 32-1827 FAX (0790) 32-2178</p>	<p> 市川町甘地駅前</p> <p>あまじ 助六</p> <p>TEL (0790) 26-0373</p> <p>代表取締役 平田 達也 (高34回生)</p> <p>70名様までの椅子席の宴会場あります。</p>
<p> 有限会社 五基建設</p> <p>中塚 正志 (高15回生)</p> <p>別所事務所 〒671-0221 姫路市別所町別所1丁目31番地 TEL (079) 251-0551 FAX (079) 251-2722</p>	<p>2019年6月 新学舎完成</p> <p> 姫路日ノ本短期大学 幼児教育科</p> <p>〈保育コース〉 〈ライフデザインコース〉 ・幼稚園教諭二種免許 ・幼稚園教諭二種免許 ・保育士資格 ・情報処理士</p> <p>専攻科</p> <p>〒679-2151 兵庫県姫路市香寺町香呂890 TEL (079) 232-4140</p>	<p>体操服・学生服</p> <p>〈有〉かなざわ</p> <p>金澤 正人 (高25回生)</p> <p>姫路市東駅前町24 TEL (079) 222-8469 FAX (079) 222-8469</p>
<p>神戸医療福祉大学</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康スポーツコミュニケーション学科 社会福祉学科 経営福祉ビジネス学科 <p>http://www.kinwu.ac.jp/ 〒679-2217 神崎郡福崎町高岡1966-5 TEL (0790) 22-2620</p>	<p> 中井総合印刷</p> <p>情報伝達のお手伝い</p> <p>兵庫県神崎郡福崎町南田原1456-17 TEL (0790) 22-0300(代) FAX (0790) 22-1730</p>	<p> 天狗寿司</p> <p>高橋 潤 (高33回生)</p> <p>神崎郡福崎町駅前 TEL (0790) 22-0506</p>
<p> 株式会社 中塚製作所</p> <p>代表取締役 中塚 昌利 (高24回生)</p> <p>〒679-2201 兵庫県神崎郡福崎町大貫1034-9 TEL (0790) 22-1111 FAX (0790) 23-0078</p>	<p>備谷歯科医院</p> <p>院長 備谷 信哉 (高27回生)</p> <p>姫路市安田4丁目29-1 TEL (079) 281-1343</p>	<p>播州 福崎特産</p> <p>もちむぎ素麺 福の糸 もちむぎ焼酎 ふくさき</p> <p>株式会社 マルフク</p> <p>代表取締役会長 後藤 雅一 (高13回生)</p> <p>神崎郡福崎町福崎新148 TEL:0790 (22) 0290 FAX:0790 (22) 3410</p>

風見・山本合同事務所

司法書士 **風見幸信**
 土地家屋調査士 **山本洋二** (高21回生)
 行政書士

〒670-0012 兵庫県姫路市本町68番地170
 (大手前第一ビル1階)
 TEL (079) 224-8686

MORI DOOR

株式会社 モリ

代表取締役会長 **森 治 男** (高24回生)
 代表取締役社長 **福 田 正 幸** (高32回生)
 専務取締役 **森 元 宏** (高52回生)

〒679-2214 兵庫県神崎郡福崎町福崎新263
 TEL (0790) 22-0046 / FAX (0790) 22-4641

喫茶・軽食



十

上田 健介 (高15回生)

〒679-2414 神崎郡神河町粟賀町416
 神崎総合病院前・R312号沿
 TEL (0790) 32-1915

小松尾建設

小松尾 齊吾 (高44回生)

神崎郡福崎町福田347-10-105
 TEL (0790) 22-5710

お申し込み・お問合せは



株式会社 三森化学

〒679-2212 兵庫県神崎郡福崎町福田93番地7
 観光バス (0790) 22-3322
 FAX (0790) 22-0659
<http://www.kanzakikotsu.com>
 E-mail: kanbus@ares.eonet.ne.jp

めっき・金属表面処理



株式会社 三森化学

三森 文代 (旧姓:城井 高27回生)
 西村 亜子 (旧姓:三森 高52回生)
 稲岡 弥子 (旧姓:三森 高54回生)

〒679-2212 兵庫県神崎郡福崎町福田362番地
 TEL (0790) 22-0554(代)
 FAX (0790) 22-3160

歓迎

第17回和親会ゴルフコンペ
 開催日 令和元年10月16日(水)



粟賀ゴルフ倶楽部

総支配人 **藤田 昌晴**

〒679-2434 兵庫県神崎郡神河町吉富1833-6
 TEL.0790-32-1621 FAX.0790-32-1626



コーワエンジニアリング有限公司

代表取締役 **橋本 正彦**

本社 〒679-2217 兵庫県神崎郡福崎町高岡1114
 Tel 0790-22-5569 FAX 0790-22-1180
 市川工場 〒679-2324 兵庫県神崎郡市川町坂戸335
 Tel 0790-26-1722 Fax 0790-26-1723
 西治工場 〒679-2215 兵庫県神崎郡福崎町西治484-2
 Tel 0790-35-9722 Fax 0790-35-9722

もんだい解決の



だいもん住設工房

水まわりが得意なリフォーム屋
TEL 0790 (20) 7279

代表 **高井 健吾**

「和」のこころ、伝えます
 創業1908年



おきもの屋

尾内 利光 (高22回生)

〒675-2303 加西市北条町古坂1丁目86
 TEL・FAX (0790) 42-0519



ゴルフクラブ・シャフト・ヘッド・製造
 ゴルフ用品販売修理

株式会社 さくらゴルフ

代表取締役社長 **植田 弘造** (高24回生)

〒679-2203
 兵庫県神崎郡福崎町南田原3002番
 TEL (0790) 22-0415
 FAX (0790) 22-5468

ニッポンの器をよくしたい



株式会社 宇崎商店

MADOショップ 姫路香寺店

宇崎 英生 (高50回生)

〒679-2163 姫路市香寺町土師字高室672-1
 TEL (079) 232-5008
 FAX (079) 232-5064
 神崎郡福崎町八千種174-1

24時間、365日、安心して過ごせるサービスを提供いたします

- 愛の里デイサービスセンター
- 愛の里訪問介護事業所
- 愛の里訪問看護ステーション
- 愛の里安心サポートセンター
- 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所
- ケアプラン愛の里居宅介護支援事業所
- 愛の里介護タクシー・寝台車事業所 (専用ダイヤル: 0790-22-1721)

○愛の里第2デイサービスセンター
 ○老人憩いの家 れんげ (入居・一時お泊り施設)
 ○一般労働者派遣事業所 (派28-301777)

季節の華 株式会社
TEL:0790-23-0008
 〒679-2214 神崎郡福崎町福崎新365番地



1級建築士事務所
 積水ハウス株式会社本社工事店
 一般建築工事・土木工事

神プレ建設株式会社

代表取締役 **谷 総 徹** (高32回生)
谷 総 智哉 (高57回生)

〒679-2415 神崎郡神河町福本614
 TEL 0790-32-0513 FAX 0790-32-1733

いつまでも、これからも... ずっと健やかであるために



有限会社 **愛の里グループ**



スーパーポルカー
SPX-4500

ゆったりとしたスタンダードなボディサイズ。
 使う人の気持ちを考えた充実機能を満載。



福伸電機株式会社

〒679-2288 兵庫県神崎郡福崎町福田447-1
 TEL 0790-23-0811 FAX 0790-23-0822

[4輪デラックスモデル]